

## 横田飛行場内における泡消火薬剤の漏出について

- 2010年から2012年に横田飛行場内で泡消火薬剤が漏出した3件について、2018年12月の報道を受けて、2019年1月に、米側より当該3件に関する報告書を入手しました。  
その後、当該報告書の内容確認を行った上で、公表可能な内容や部外への漏出に関する米側の認識について、米側に照会を行い、2022年12月に、
  - ・2010年1月、格納庫における漏出、
  - ・2012年10月、ドラム缶から漏出、
  - ・2012年11月、保管されていた容器から漏出したが、これら3件について、いずれも飛行場の外へ泡消火薬剤が流出したとは認識していないとの回答を得て、本年6月30日以降、関係自治体に対して、ご説明を行ったところです。  
その際、詳細な情報を迅速に提供するようご要望をいただいたことから、本日、添付資料のとおり、漏出場所や漏出量等の情報を、提供させていただきます。
- また、本年6月の報道にあった、2020年に横田飛行場内で泡消火薬剤が漏出したとされる3件についても、米側に照会を行い、今月中旬に、
  - ・2020年5月、消防車両から漏出
  - ・2020年8月、消防車両から漏出
  - ・2020年11月、消防車両から漏出したが、これら3件の泡消火薬剤は、原料にP F O S等を含まないものであったこと、また、飛行場の外へ泡消火薬剤が流出したとは認識していないとの回答を得て、本日、添付資料のとおり、詳細情報を説明させていただきます。
- 今般の米側との調整に際しては、関係自治体からいただいたご要請も踏まえ、
  - ①基地内の泡消火薬剤の適切な管理及び漏出の再発防止
  - ②日米合意に基づく通報対象であるか否かにかかわらず、基地内でのP F O S等を含む泡消火剤の漏出についての速やかな情報提供
  - ③横田飛行場を含む日本国内の全ての在日米軍施設において、2024年9月までにP F O S等を含む泡消火薬剤の交換を完了する計画について、交換プロセスの加速を要請したところであり、今後、関連情報を地元の皆様に速やかにお知らせできるよう努めてまいります。
- その上で、関係自治体からは、詳細な情報提供に加え、国の責任において基地内のP F A S漏出に係る地下水への影響について評価等を行うことも要望されているところ、環境省の専門家会議における検討等を踏まえ、防衛省としても、関係省庁で連携しつつ、対応してまいります。

## 米側から情報提供を受けた漏出の内容

- 【1】漏出日時：2010年1月11日 11:39  
排出量：5～10ガロン（約19～38L）  
場所：格納庫（建物番号1503）  
基地外への流出：（報告書に直接の記載はないが、米側は、横田飛行場の外へ泡消火薬剤が流出したとは認識していないと説明）
- 【2】漏出日時：2012年10月11日 10:30  
排出量：25ガロン（約97L）未満  
場所：倉庫（建物番号953）  
原因等：ポリエチレンドラム缶の劣化  
基地外への流出：水路・基地外への流出なし（吸着パッドを使用し除去）
- 【3】漏出日時：不明（報告日：2012年11月29日）  
排出量：約800ガロン（約3030L）  
場所：横田消防署（建物番号530）  
原因等：タンクから徐々に漏出し、コンクリート床版の間にある床の目地を通して吸収された模様  
横田消防署（建物番号530）は、横田飛行場中央部に位置（近傍の基地境界からは約0.6km離れた位置）しており、消防署の床面はコンクリートで舗装されている。  
漏出報告書によれば、当該タンクから薬剤が徐々に漏れ出した模様であり、1年以上の期間をかけて発生した可能性がある。排水路や下水道に入った形跡はない。目地を通じて同物質の一部がコンクリートに吸収され、下の土壌に入った可能性を考慮した。建物外に染みがあったものの、この染みは最終的に本事業には関連づけられなかった。  
基地外への流出：水路・基地外への流出なし
- 【4】漏出日時：2020年5月1日 15:30  
排出量：1ガロン（約4L）  
※漏出したのは原料にPFOS等を含まない水成膜泡消火薬剤。  
場所：横田飛行場  
原因等：年次の消防車両ポンプ試験において、泡消火薬剤のバルブを開口  
基地外への流出：なし（吸着パッドを使用し除去）
- 【5】漏出日時：2020年8月26日 08:00  
排出量：25ガロン（約95L）  
※漏出したのは原料にPFOS等を含まない水成膜泡消火薬剤。  
場所：横田飛行場  
原因等：消防車両の日々点検の際、水ではなく混合泡を散布  
基地外への流出：なし（コンクリート舗装面で発生。吸着パッドを使用し除去）
- 【6】漏出日時：2020年11月3日 14:45  
排出量：1ガロン（約4L）  
※漏出したのは原料にPFOS等を含まない水成膜泡消火薬剤。  
場所：横田飛行場  
原因等：消防車両の封鎖された泡消火薬剤タンクの蓋部分から泡が漏出  
基地外への流出：なし（アスファルトの道路、駐車場にて発生。吸着パッドを使用し除去）

横田飛行場における泡消火薬剤の漏出について

